

藤沼温泉「やまゆり荘」

湯船につかり、緑豊かな藤沼湖の自然を一望しながら、ゆったり過ごせるくつろぎのスペース。「良く温まる」「体の調子が良くなった」「肌がツルツルする」など、利用した方々から喜ばれている。



水と緑のふれあいランド

藤沼湖のほとりにある、ヨーロッパ調のコテージ村とオートキャンプ場。澄み切った空気と景観の美しさ、湖水をわたる風の心地よさ……ここは、長沼の自然の魅力がいっぱいだ。



パークゴルフ場

水と緑のふれあいランド南側の山林に広がるパークゴルフ場。藤沼湖を一望できる絶好のロケーションで、子どもからお年寄りまで気軽に楽しめる。藤沼湖西側の多目的広場にあるバーベキュー施設とフリーサイトも家族連れに好評だ。

●長沼町の観光及び物産●

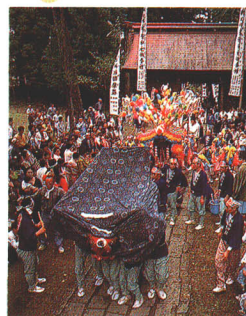


長沼まつり

昭和60年から始められた若者主体の祭り。長沼音頭によって踊り流しや子供みこし、ねぶた・ねぶたが次々と登場する。それぞれのねぶたの周りでは、躍動感あふれる「ハネト」が夜の長沼町を演出し、祭りを盛り上げる。

榊衝神社の太鼓獅子舞

古く奈良時代から伝わる郷土を代表する祭り。3年に1回(旧暦の閏年)10月1日に催される。神社の境内に数千人の参拝者で賑わう中、楽人の奏でる笛の調べに合わせて獅子が舞い、優雅華麗の極をつくす。



ながぬま
味がおい
感じて、



ながぬま特産品

自然をいかした野菜作りが自慢の長沼町。美しい緑色とほのかな甘さが自慢の「秋冬ニラ」は、有機質を積極的に施し生産される。若瀬きゅうり(パワーグリーン)は全国でもトップクラスの出荷量を誇り、バランスのとれた水分と堅さ、パリッとした歯ごたえと甘味が特徴。他にも長沼の新鮮なわき水で仕込んだ地酒が造られている。



工芸(長沼焼)

江戸時代初期、水野兄弟によって陶業が営まれたとされる。幕末、矢部富右衛門により再興され、昭和10年代まで続いた。現在は、勢至堂地区に窯を持つ陶芸家伊藤文夫氏の「鉢の子焼」が、独自の窯法で「長沼焼」の心を燃やし続けている。